

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救急車での緊急走行中における、危険情報の察知、予見の多様性が求められた事案。
3. 体験した事例の中心的要素	渋滞した片道1車線の道路で、南進する救急車(当事者)と、北進してきた別件出場の救急車とが遭遇。一般車両は左右に退避しており、道路中央は救急車1台分が通過可能な状態。北進してきた救急車がパッシングし、南進中の救急車(当事者)が合図を受け動き出したところ、急に前方にいた一般車両が動き出したため、急ブレーキをかけ、追突は間一髪免れた。
4. 体験した事例の原因・理由	北進中の救急車からのパッシングを一般車両が自車に対するものと勘違いした可能性がある。また、一般車両は前方の救急車(北進)に気を取られ、後方から接近していた救急車(当事者・南進)には気付いていなかった可能性も考えられる。まさか一般車両が飛び出してくるとは予見出来なかった。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成23年8月4日 午後4時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：一般道路
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急 その他:傷病者を搬送中
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	搬送中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[34]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[11] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [], 任務 []
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	救急車で傷病者を搬送中、交差点を右折	南進する
経過2	A	右折すると、一般車は左右に退避した	一般道路は渋滞していた
経過3	A	道路中央は救急車1台が通行可能	片道1車線の県道
経過4	A	対面から別の救急車が接近してきた	北進
経過5	A	対面の救急車からパッシングを受ける	先行の合図と判断する
経過6	A	動き出したところ、前方車両が急に動き出す	
経過7	A	急ブレーキをかけ、間一髪追突を免れる	
経過8	A	搬送中の傷病者及び隊員に怪我等なし	
経過9	A	搬送を再開する	
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難退避がうまくいった。周囲の視界が確保できていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

